

SHIMIN PHOTO

市民フォト

鹿児島



NO.69

平成9年7月1日発行

わがまち 上空散歩

南栄上空から

写真中央部に広がる大きな建物群。ここは昭和四十年代半ばに海を埋め立てて造られた街。縦横に幹線道路が走り、多くの製造業者や卸売業者が集まる南栄、そして御本町です。

写真手前の鹿児島港谷山一区は内外の大型貨物船が出入りするとともに、外国の大型観光客船の寄港が相次いでいる重要な港です。

停泊している貨物船は飼料原料専用船。付近に見える円筒形が重なり

鹿児島の経済を支えるこの街。皆さんはどうな

印象をお持ちですか。

合った建物は、飼料工場の原料保管のためのサイロ。原料は、遠くアメリカやオーストラリアなどから運ばれます。

その奥を横切るのは永田川。その河口に架かるのは全長三百七十五メートルの谷山臨海大橋です。橋の中央部には展望台があり、晴れた日に見る錦江湾、そして桜島は絶景です。

あなたの奥を横切るのは永田川。その河口に架かるのは全長三百七十五メートルの谷山臨海大橋です。橋の中央部には展望台があり、晴れた日に見る錦江湾、そして桜島は絶景です。

かごしま水族館……………2

CONTENTS



表紙写真説明

初夏の一日、谷山の慈眼寺公園にやつきました。

今年四月オープンした「ふるさと考古歴史館」で古代の鹿児島を体感した後は、自然遊歩道を散策です。

緑のトンネルを抜け、イタリア式水階段まで来ると心地よい風が吹いてきます。ふと見上げると、木々の間からは野鳥のさえずりが…。

モデルはミス鹿児島の有川三千代さん（右）と友人の馬場美智子さん。

市民フォト鹿児島（No.69）

わがまち上空散歩……………2

【特集】オープニングおワールド

かごしま水族館……………3

クローズアップ●萩原嘉昭さん 10

ハロー鹿児島●アンネ・ヨハンセンさん 12

よかタイム●北之園洋子さん 13

カメララボピックス……………14

学校探訪●東桜島小学校 16

わたしの好きな場所●森重匡世さん 18

ふるさとの歴史探訪

●縄文の暮らしをさぐる……………20

あなたのフォトサロン●諏訪福子さん 24

かごしまの自然●国道3号沿線 26

シティーアングル●流 27

市民ギャラリー●伊敷公民館 28

誌上「市営施設見学会」

●かごしま健康の森公園 30

市立美術館

●ブリ・シュール・マルヌの教会 31

オープン!!

いおワールド かごしま水族館



水族館外観

雄大な桜島と美しい錦江湾、そして銀色に輝く八面チタン葺きの大屋根。いおワールドかごしま水族館が鹿児島港本港区北ふ頭にオープンしました。

国内でも屈指の規模と内容を誇る館内には、約四百種類、五万点の魚たちが展示され、みなさんを浪漫の世界へと誘います。

「素晴らしい海を、そして、生き物たちの織りなす自然をみなさんにお伝えしたい、未来の人たちに残していきたい」

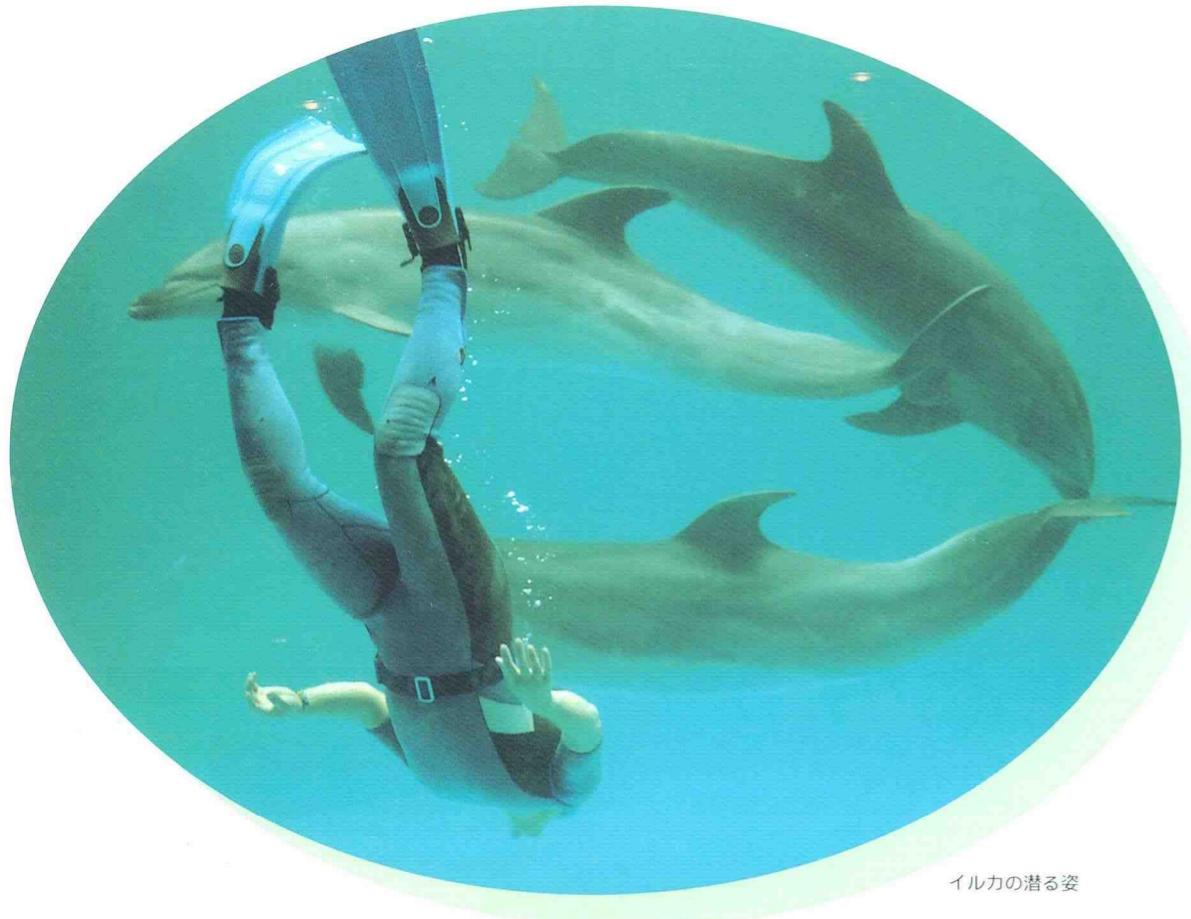
こうした願いを込めて誕生した
かごしま水族館へ

みなさんもどうぞお越しください。



イルカプール

イルカプール全景



イルカの潜る姿

イルカはハンドウイルカという、水族館ではおなじみのイルカ。イルカプールでは、イルカ本来の跳ねる、泳ぐ、潜るなどの行動をじっくり見ることができます。



五月二十九日、秋篠宮ご夫妻をお迎えして開館セレモニーが行われ、かごしま水族館の誕生を祝いました。

セレモニーの後、秋篠宮ご夫妻は赤崎義則鹿児島市長らとともに館内をご見学。イルカプールでは、水面を飛び跳ねるイルカに大きな拍手を送られていきました。



イルカプールをご見学される秋篠宮ご夫妻



フロリダ・スポットド・ガードラ

かごしまの海

私たちにとって一番身近な海、錦江湾。そこにも多くの生き物が生息しています。マダイ、ミズイカ、キビナゴ。皆さんになじみのある魚から世界最大の力二、タカアンガまで、多彩な錦江湾の生き物を見ることができます。

写真は薩摩半島南部の水深三百メートル付近で捕獲されたタカアンガです。



サンゴ礁と熱帯魚



タカアシガニ

贈り物からのお友姉妹都市

オーストラリアのパース、中国の長沙、イタリアのナポリ、アメリカのマイアミ各市から贈られた魚たちを展示。

写真はマイアミ市からの贈り物、フロリダ・スポットド・ガードラです。

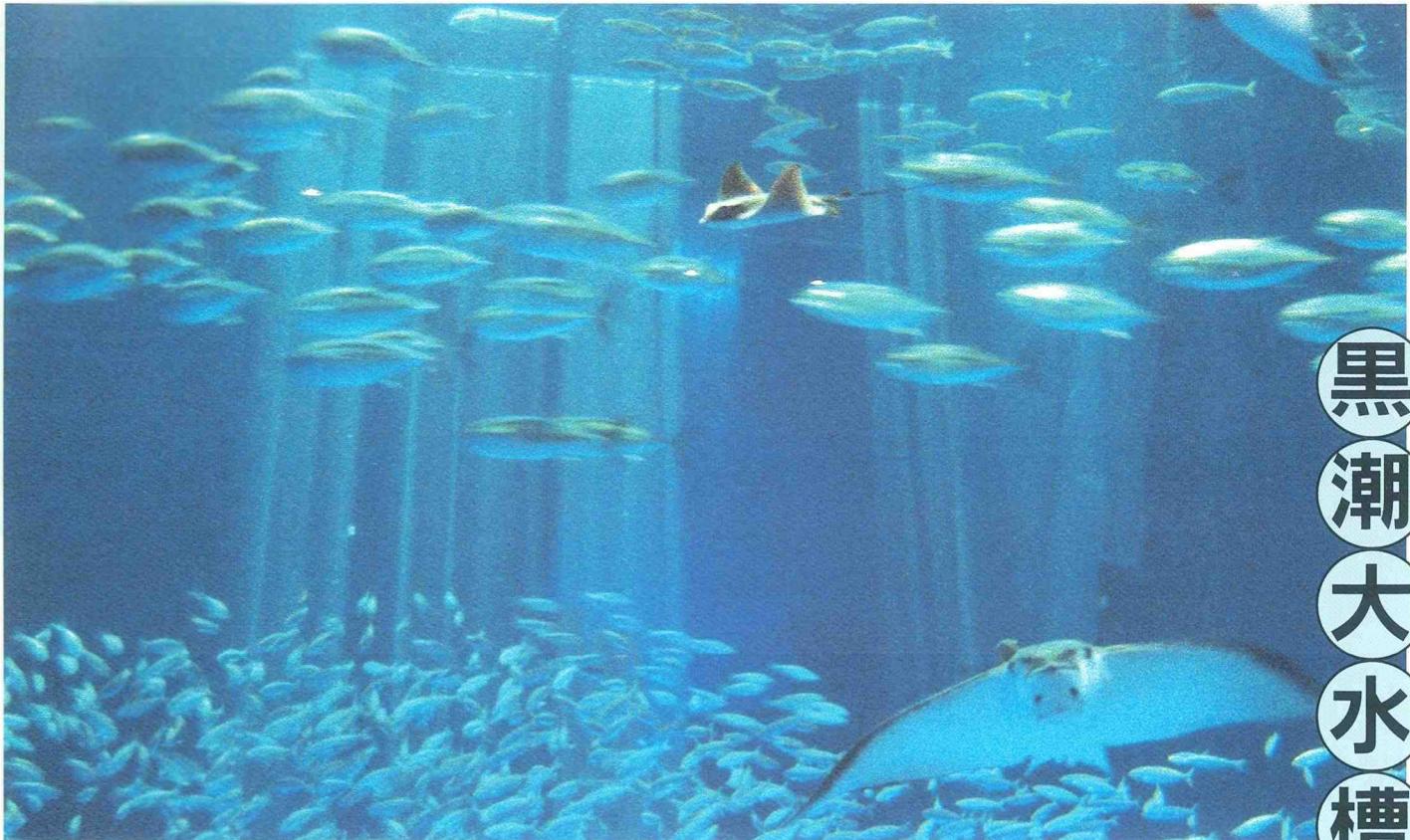


フロリダ・スポットド・ガードラ

南西諸島の海

サンゴ礁のすきまを、色とりどりの熱帯魚が行き来します。
亜熱帯の海の多彩な生物模様が楽しめます。

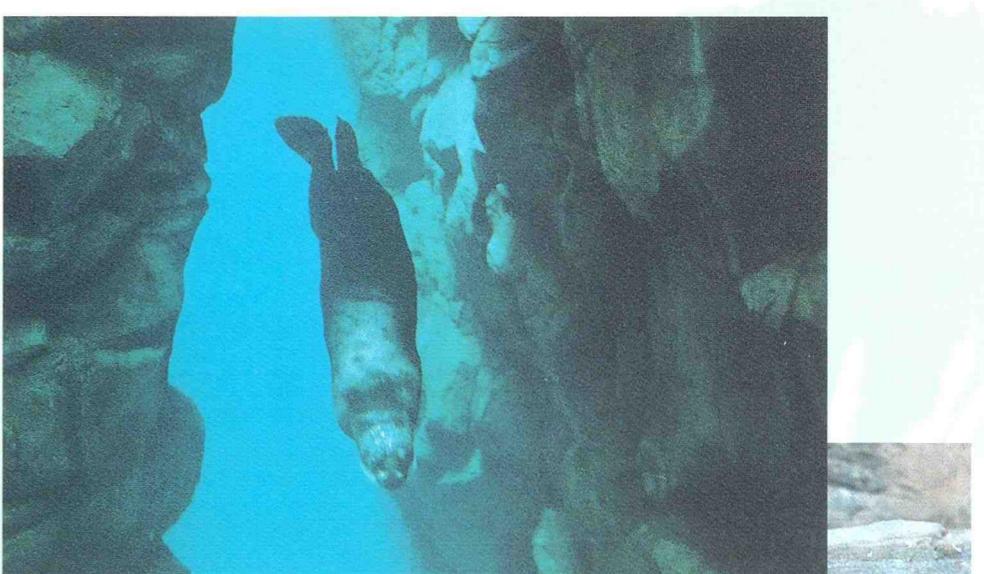
サンゴ礁と熱帯魚



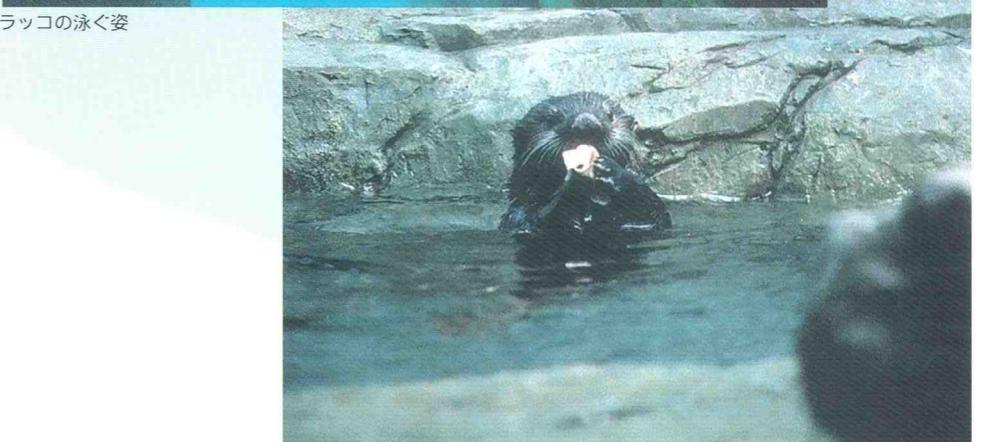
マグロ・イワシ・エイ類などが群泳する様子

黒潮大水槽

国内の水族館としては三番目の大ささとなる千五百トンの巨大水槽です。そこはまるで黒潮の海を切り取ったかのようです。



ラッコの泳ぐ姿



ラッコの食事風景

ラッコ水槽

愛くるしい仕草が人気のラッコ。両手でえさをつかみ、食事をする様子に時がたつのも忘れてします。

国内の水族館としては三番目の大ささとなる千五百トンの巨大水槽です。

そこはまるで黒潮の海を切り取つて

きたかのよう

です。

生命への感動と未来への夢を!

本市は、南北三十キロメートルにおよぶ海岸線を有しております。歴史的にも海と深いかかわりを持ち、海とともに発展してきたまちです。

これまでの都市型水族館とはひと味違った水族館と言われていますね。

オープンしたかごしま水族館、子どもから大人まで、大変な人気ですね。

市長自身、水族館をご覧になつて感じたことは。

(編集者注記)
*2*1淡水魚用水槽を除く
良質な海水の確保は、水族館にとって重要な問題。
都市型水族館には、水槽の水を遠くの海から運搬したり、人工的に合成して作っているところが多い。

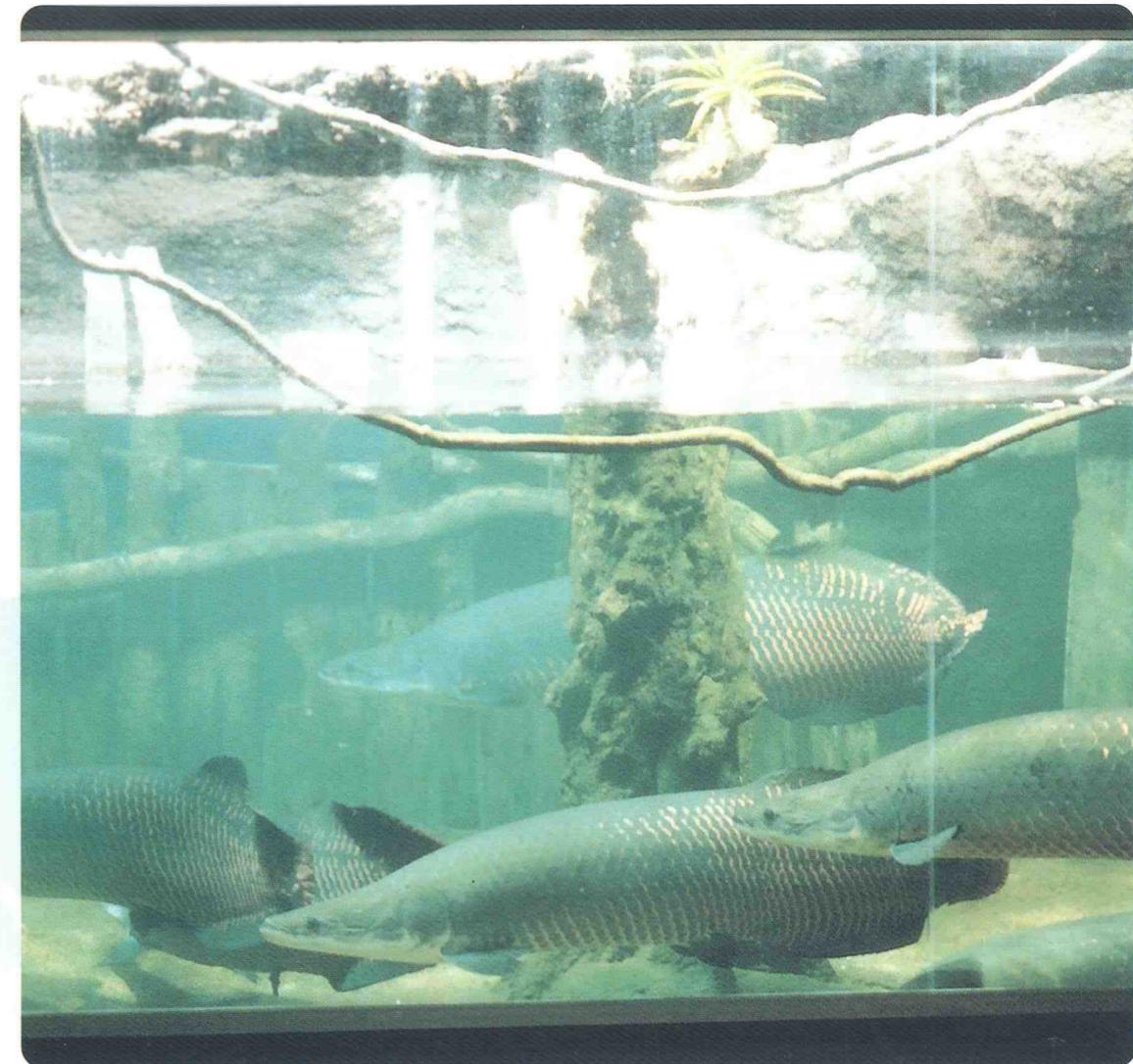
海は私たちを引きつける不思議な魅力を持つっています。日本の南の海を存分に演出した水族館、そこにすむ生きものとの出会い、神秘的な世界を身近に体感できる喜び、すべてに新たな感動を感じましたね。私が予想した以上の素晴らしい水族館でした。

さあ皆さん。感じ方はいろいろ、自分自身の感性で、水族館をご覧になつてみてはいかがでしょうか。



赤崎義則鹿児島市長

いおワールド かごしま水族館 ～市長に聞く～



ピラルクー

世界最大の淡水魚で、アマゾンからやつてきたピラルクー。現在、全長一・六メートル、体重六十キログラムほどです。成長すると、全長四・五メートル、体重二百キログラムほどになるものもあります。

ピラルクー水槽

◆利用案内

●開館時間 午前9時30分～午後6時(入館は午後5時まで)
※7月20日～8月31日は午後7時まで
開館します。(入館は午後6時まで)

●休館日 12月29日～1月1日

●入館料

区分	個人	団体
大人	1,500円	1,200円
小人(小・中学生)	750円	600円
幼児(4歳以上)	350円	280円

※団体入館料は20人以上の団体に適用します。

●入館料の減免

- ①鹿児島市発行の友愛バス、友愛タクシー券等をお持ちの方は、入館料が免除されます。
- ②鹿児島市発行の敬老バスをお持ちの方は、入館料が750円になります。

◆交通案内

●市電 「市役所前」下車徒歩8分
●市営バス、カゴシマシティビュー、鹿児島交通バス、「かごしま水族館前」下車徒歩1分
※ご来館の際は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



【問い合わせ】 かごしま水族館 226-2233



埋もれた古石を掘り起こして丹念に磨き上げる。時間がかかつても飽くことがない。まちづくりの未来に確信を持っているのだ。

—ささやかなことからでも出発しよう—

穏やかな、しかし力のある言葉で語るのは萩原嘉昭さん。南洲門前通り会青年部（南青会）の会長として地域のまちづくりに積極的に取り組む熱血漢である。

萩原さんは根っからの南洲門前つ子で代々石工の家系。萩原さんは自身家業に就いて二十年になる。仕事の内容としては墓石のほか、福昌寺や仙巖園（磯庭園）の石づみの復元、取り替えなど、歴史のあるもの、公益性の高いものに取り組んできた。石工としての技術者の誇りが歴史の一つひとつの復元に熱中させた。

「福昌寺の石づみの復元のためには、福井県の永平寺を見学にいきました。もちろん予算的には大赤字ですよ（笑）。」

そして、技術への熱中が、先人の歴史・文化への尊敬を経て、地元への愛着につながっていく。

福昌寺跡や大龍寺跡、初代文部大臣森有礼誕生地のある石畳の武家屋敷跡など、歴史的雰囲気の漂う南洲門前通り。

（INC）は、近くの南洲神社に祭られている西郷隆盛とした。

「私が小さい頃からなれ親しんだこの通りは、すばらしい宝物がいっぱいいまっていることに気づいたんです。」

萩原さんの情熱は、南青会を通してのまちづくりへと発展した。

「もともとお祭りやイベントが好きですから。」

と、力まない自然体で、地域新聞の発行や南洲門前祭りの企画・実施、市内のイベントに参加してのもちつきなど多くの事業を成功させてきた。

「自分にできるかなあと思っても、とりあえずいろんな役を引き受けた。するとまわりの皆さんが助けてくれるんです。」

チャレンジすることで、今まで見えなかつた道が突然開けてくる。その瞬間がたまらなくいいですね。」

そして、今回、萩原さんたち南洲門前通り会が、商店街づくり計画書をまとめた。

（世代を越えてふれあうまちーを目標に、人口減少の続く同地域の活性化を図ろうというもの。また、通り会のイメージキャラクター（INC）は、近くの南洲神社に祭

「小さい頃から南洲神社のある山を“西郷さん”と呼んで遊んでいました。常に西郷さんが身近かにいる感じだつたんです。」

計画の策定には、地域の多くの若い人が関わった。地道な通行量調査や商店アンケートから、車の通行量が多い割に買い物客を呼び込める、通りの統一感がない、

などの問題点が浮かび上がってきた。対応策も駐車場確保、西郷さんのシンボルマークを各店の看板や案内板に入れる、通りにフラッグを付けるなど、より具体的に挙げた。

「とにかく、若い人が集まって、地元から何か行動を起こそうといふ雰囲気が高まってきた。このことが何よりです。」

萩原さんの活動は、さらに多岐にわたる。大竜小学校の水泳のスポーツ少年団の指導にも取り組んでいる。この少年団は単にスポーツをするだけではなく、休日など、父兄も含めて地域の清掃作業を取り組んでいる。子どもたちの、地域への関心と感謝の気持ちを育てているところをするもの。



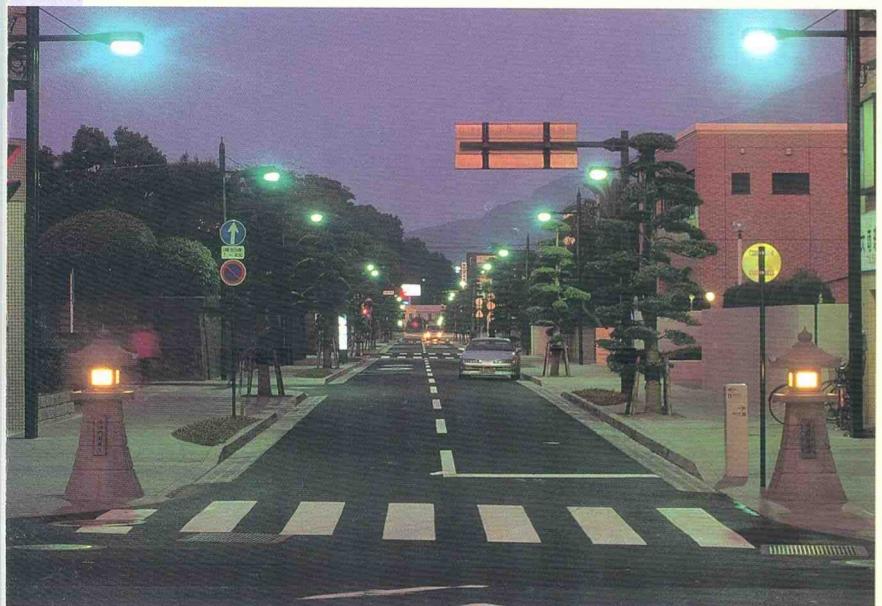
クローズアップ CLOSE UP

南洲門前通り会青年部会長

はぎはら よしあき
萩原 嘉昭さん

PROFILE

昭和33年 鹿児島市大竜町に生まれる
平成3年 「上町まつり」企画・運営参加
平成5年 南洲門前通り会青年部会長
平成8年 南洲門前通り商店街づくり計画書策定に参加



・ライトアップされた南洲門前通り～歴史的雰囲気の漂う散策路として平成7年度には「手づくり郷土賞」を受賞した。

ハロー鹿児島

HELLO

KAGOSHIMA



アンネ・ヨハンセンさん
(デンマーク)

アンデルセンの故郷デンマークから来たアンネ・ヨハンセンさん。日本に来て二年、コペンハーゲン大学で日本語を専攻し文化、歴史などについて学んだだけあって、流ちょうな日本語を話します。

「母の故郷でもあり花と緑の豊かな街、鹿児島は大好きです。デンマークは北海道と同じくらいの気候なので、特に鹿児島の春秋はお気に入り。でも、暑い夏はちょっと苦手です。人々と、もっと交流を深めたいという気持ちから、仕事のかたわら国際交流市民の会主催の林間学校にボランティアとして参加して小・中学生とふれあったり、国際交流講座のデンマーク料理講師として母娘で参加したりと、人とのつながりを大切



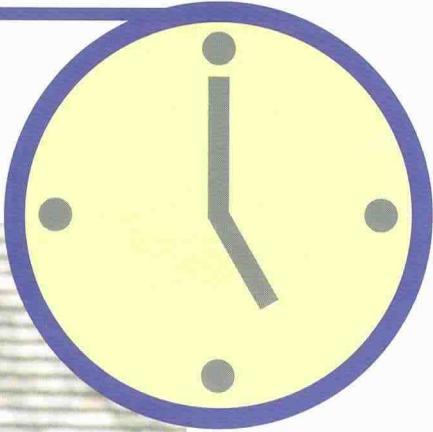
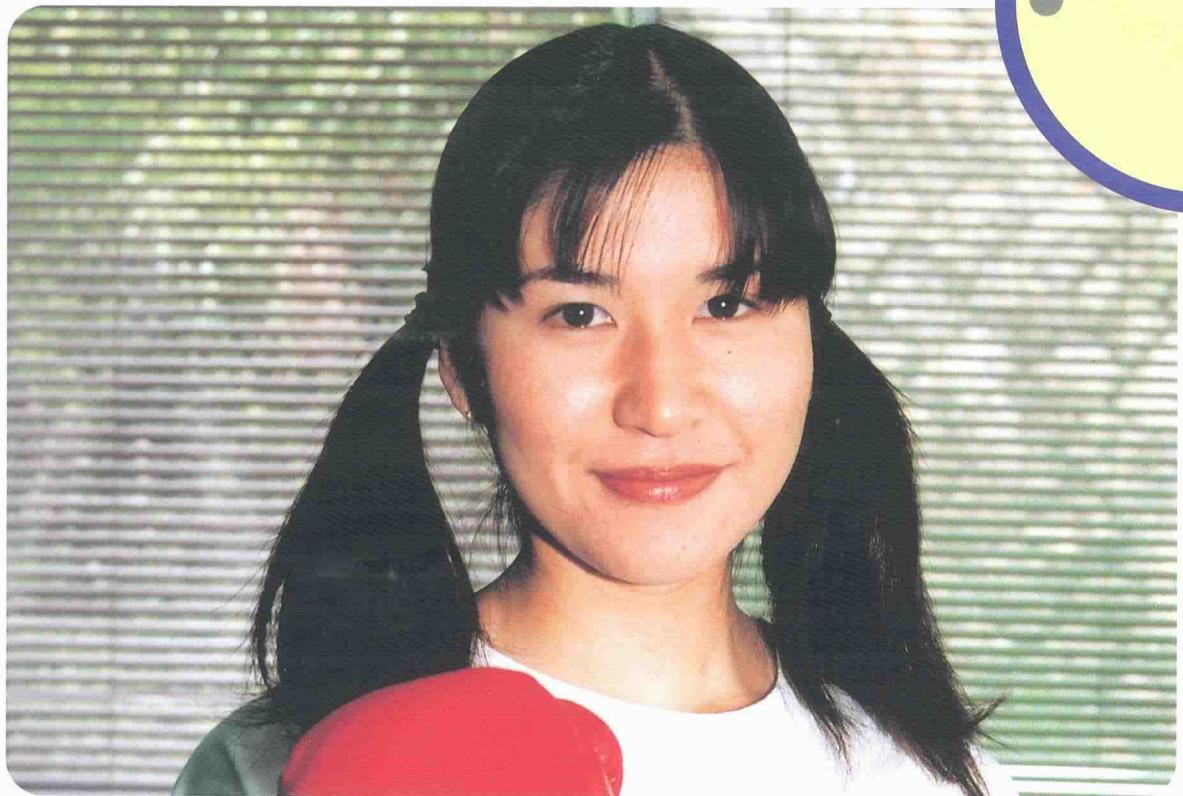
にしています。「お互いの国の文化や習慣を知ることができ、良い経験になりました。国際交流において一番大切なのは、恥ずかしがらずに自分から話しかけ、心を開くことだと思います」とアドバイスしてくれました。

休日は、散歩をしたり、健康の森公園へ泳ぎに行つたりと活動的な面もある一方、読書も好きとか。近所の方からも人気者のヨハンセンさん。

「これからも出会いを大切に、いろいろな事を学んでいきたいです」。さわやかな笑顔の魅力的な女性でした。



よかタイム



ボクササイズ

北之園 洋子さん

よかタイム

7つの質問

ボクササイズって何ですか？

(ドキッとした様子で)いいえ
（笑）。無心で打っています。

周りの反応は？

Q6

Q5

Q4

Q3

Q2

Q1

ボクササイズとエクササイズを合体したもので、健康づくりを目的としたスポーツです。だから、ボクシングの様な打ち合いはありません。

内容は？

1回で約一時間程度。メニューは、

①ストレッチ運動 ②シャドーボクシング ③なわとび ④サンドバック打ち ⑤ダンベル ⑥ミット打ちです。

きっかけは？

ボクシングのグローブを手にはめてみたかったので。単純ですか？

（笑）

いいところは？

ボクササイズをしてすっきりすることで、考え方が明るくなりストレスが少なくなった気がします。

仕事のことでも落ち込んで、食事はおいしいし、ぐつり眠れるんです。で、姉からはもつと悩んだ方がいいんじゃない？って言われるんです（笑）。

週四回、仕事帰りに市内のクラブで心地よい汗を流す北之園さん。

ストレッチ、シャドーボクシングなど一人で黙々とこなしていくメニューも実際に楽しそうな表情。真っ赤なグローブを手にすると、輝くひとみでミットを見定め、軽いフットワークで的確なパンチを打ち込んでいく。

「みんながしていないようなスポーツをしてみたい」
北之園さんの明るい個性が、自分なりの新しいスポーツの楽しみ方を切り開いていく。まさに彼女は「よかタイム」のパイオニアである。



Q7

Q6

Q5

Q4

Q3

Q2

Q1

みなさんにPRしてください。

ボクササイズは誰でも自分の体力に合わせてどこでもできます。力を抜いてリラックスしてできるスポーツなんです。

サンドバック打ちは誰かを想定してやっていますか？



5月27日～29日 秋篠宮同妃両殿下御来鹿

社団法人日本動物園水族館協会総裁の秋篠宮殿下が同会通常総会並びに協議会にご臨席のため5月27日に御来鹿され、続いて同妃殿下も28日に御来鹿されました。お二人は、5月29日に行われたかごしま水族館開館セレモニーにご臨席。館内もご覧になりました。



5月30日 いわワールドかごしま水族館一般公開

5月30日から一般公開が始まった「かごしま水族館」。公開初日から多くの人でにぎわっています。

同館は、鹿児島港本港区北ふ頭の一角にあり、水族館を見た後は、近くのボードウォークで潮風に吹かれる人も数多く見かけられます。



4月18日～22日 かごしま世界帆船まつり

鹿児島港本港区を中心に行われた「かごしま世界帆船まつり」。錦江湾に浮かぶ世界の帆船の魅力を味わうために、多くの市民が集まりました。

また、期間中はさまざまなイベントが開かれ、市民自らが参加し、楽しむとともに、国際親善の輪も広がりました。



4月1日 透明ごみ袋によるごみ出し

4月1日から、透明ごみ袋によるごみ出しが本格実施され、市民の皆さんのご協力により、透明ごみ袋への切り替えもスムーズに進みました。今後は、缶やびんの分別収集も実施する予定です。市民の皆さんのさらなるご理解とご協力をお願いいたします。



4月11日 高齢者福祉センター東桜島
高齢者デイサービスセンター東桜島オーブン

東桜島町に建設中だった、高齢者福祉センター東桜島・高齢者デイサービスセンター東桜島がオープン、4月12日から利用できるようになりました。地域の高齢者の方々はもとより、市内全域の高齢者の方々に利用されています。

CAMERA TOPICS カメラトピックス



4月18日 都市農業センター落成

都市型農業振興の拠点施設、そして市民が土にふれたりする施設として、都市農業センターが完成、4月20日からは市民農園が開園しました。

多種多様な果樹や四季折々の草花を楽しむことができるほか、晴れた日に緑の高台から桜島を眺めることもできます。



4月15日 フルサト考古歴史館落成式

4月17日から一般公開が始まった「フルサト考古歴史館」。縄文時代草創期の掃除山遺跡（約一万一千年前）や江戸時代後期の鹿児島城下町の様子など、本市の歴史や文化を大型映像や最新の情報・映像機器を使って紹介する参加体験型博物館です。

学校探訪



●創立 明治22年
●児童数 50人
(平成9年6月1日現在)

東桜島小学校



朝のランニング さわやかな風が吹き抜けます。

**大自然桜島のふもと
伝統とぬくもりに満ちた学校**



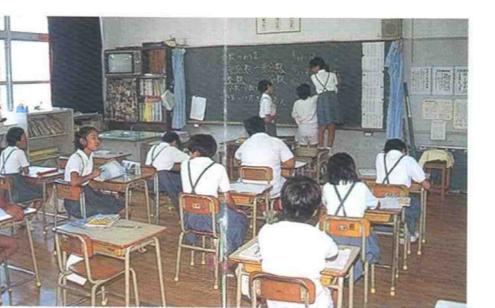
50人全員そろったかな?!



学校から見上げた桜島



校庭にある爆発記念碑



算数の授業だって和気あいあい



「誕生者会」みんなでお祝い、うれしいな!



1・2年生全員で地域清掃「アッ、ごみ見つけた!」

元気いっぱい！ぼくたちの東桜島小学校

六年 川原 啓平
ひろひら

ぼくたちの東桜島小学校は、百八八年という歴史と伝統のある小学校です。五学級、五十人の小さな学校ですが、元気がありとても明るい学校です。

ぼくたちは、学校に登校するのが早いです。朝のランニングがあるからです。みんな自主的に練習します。ぼくは、今朝から走ると、とてもすがすがしい気持ちになります。そして一日中エネルギーがいっぱいですごせます。

また、夏といえば「望がく遠泳」です。学校のすぐ下のきんこうわんを泳ぎます。遠泳大会を目指して、ぼくたちは体力づくりを積み重ねています。苦しい思い出もあるけれど、泳ぎ終わったときの満足感を思い出して今年も挑戦します。

児童会活動も活発です。一人ひとりが積極的に責任をもつて、委員会の仕事をなどを行っています。

特に集会活動は毎週あります。その中でも、「たん生者会」を毎月開いていて、たん生者にプレゼントをあげたり、歌を歌つてあげたりして喜ばれています。

他にも明るく楽しく学校生活をすごすために、ぼくたちは、「観光百選地」にも選ばれたこの桜島で、「がんばる」「助け合う」子どもたちになれるように、「不屈の心」(校訓)でみんな日々努力しています。どの学校にも負けないあいさつを交わしながら、毎日、とても楽しくのびのびと生活しています。



ヘルメットで安全はバッチリ。毎朝、連れ立って仲良く登校です。



ここから見る夜景もきれいですよ
～桜島自然恐竜公園展望台にて



前には海、後ろには桜島。両方の景色が楽しめます
～桜島自然恐竜公園展望台にて



取材メモ

森重さんは、県立鹿児島工業高校卒業後上京し、主に工業・商業デザイン分野で活躍されました。昭和五十三年に帰郷、市内にデザイン事務所を開設されました。

平成七年には、発起人の一人となり、かごしまデザイン協議会を設立。初代会長を務められ、現在は二期目を迎えております。

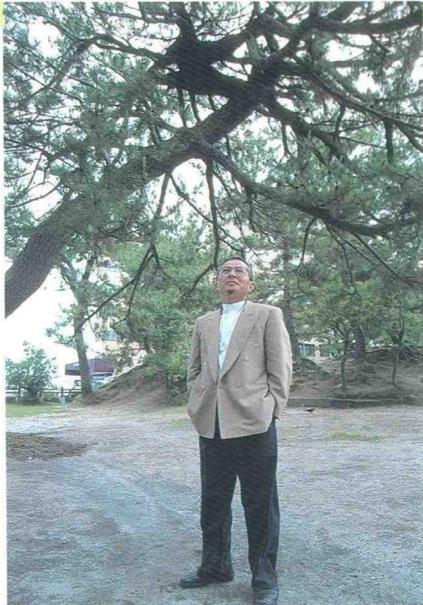
現在の協議会会員は約七十人。映像関係や教職員の方など、いろんな分野の方々が参加されており、そのまとめ役として活躍されています。

今後、協議会で県内のいい風景、いい道具などをまとめる「かごしまのいいもの探し隊」という企画を進めるほか、デザイン大賞の創設など、デザイン環境の整備に取り組みたいと抱負を話してくださいました。

端的で、わかりやすくお話しくださり、終始笑顔で取材に応じていただきました。

曾於郡大崎町出身。五十五歳。

終始笑顔



こここの緑陰が好きなんですよ
～天保山公園にて

今でも、昼休みになると会社近くの海岸に釣りに行ったりするんですよ。また、この公園の松林もたいへん気に入っているんです。夏、この松林の下で緑陰を楽しむのは、とても気持ちいいですよ。都市のなかでクロマツの林を保存しているのは、たいしたものだと思います。もうすぐ、本格的な夏がやって来ます。今年の夏は、こここの緑陰でのんびり過ごす、そんな時間をつくりたいですね。

鹿児島というと錦江湾、桜島というイメージが強いですが、錦江湾と市街地と一緒に眺める、この風景もなかなかいいものです。東京などから友人が訪ねて来たときには、ここに案内して、鹿児島の街並みを紹介するんです。私は、大隅半島に実家があり、高校生のころからよく桜島フェリーを利用していました。時間があるとここに来て、鹿児島の街並みを眺めたものです。ここは都市の持つさまざまな音が届かない、大変落ち着く気分になる場所です。

そう、昭和三十七年に上京して昭和五十三年に帰鹿したときも、まずここにきましたね。その時、鹿児島市の街の発展ぶりに驚いたのを、昨日のことのように覚えています。ただ、鹿児島市を取り囲んでいる山の稜線の緑が、所々で途切れているのは残念ですね。

でも、昼間のこの風景もいいんですが、夜景はもうときれいなんですよ。そろそろ夜の散歩にもいい季節になります。今度は、夜景を眺めにやつて来ようと思います。



緑のある風景ってすてきですね
～桜島自然恐竜公園にて

都市の魅力を肌で感じて

かごしまデザイン協議会会長

森重 桂世さん

わたしの好きな場所



土の上を歩く感触っていいですね
～天保山公園にて

天保山公園

この天保山公園には、一昔前の公園の雰囲気が残っています。都市にある公園の中でも価値ある所だと思います。市内の公園を見ると、カラー舗装などが施され、とてもきれいに整備されています。でも、土に触れるという感じを味わうには、この天保山公園が一番ですね。

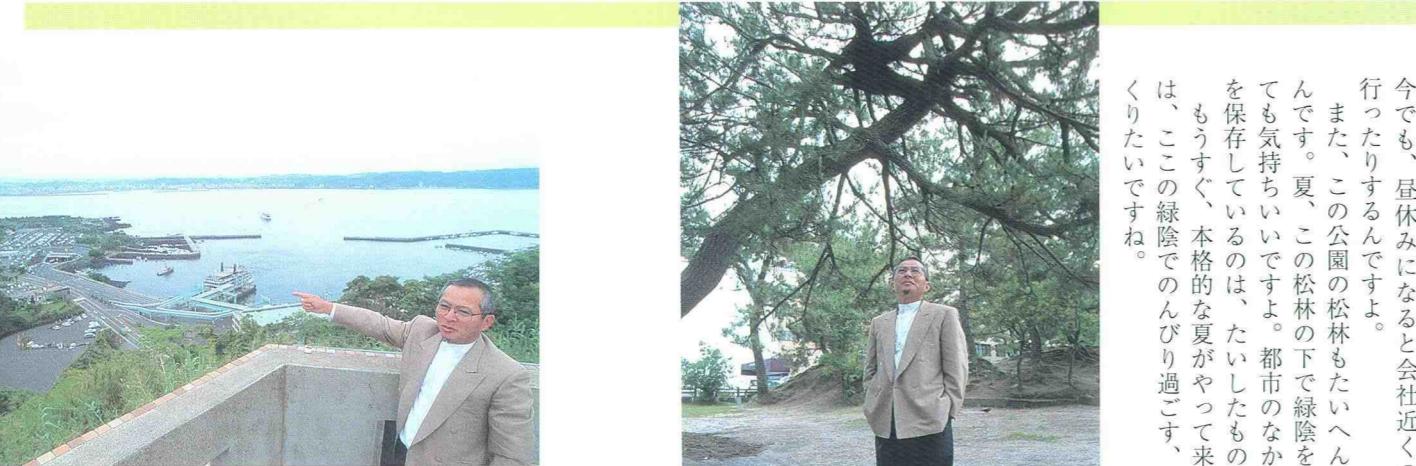
この公園のよう、土のある公園、土を大切にしている公園は、今後の都市公園のあり方を考えるときのいい見本になります。都市環境のデザインを考える上で、現在ある環境を生かすということは大事なことだと思います。でも、こうして土の上を歩いていると、なつかしい感じがしますね。

そうそう、なつかしいといえば、高校生のころ、この先の堤防で魚釣りを楽しんでいました。夜釣りに来て、イカを釣り上げたこともあります。また、ここまでよく絵をかいたものです。海岸から海、そして桜島と続く、たいへん見事な風景でしたね。

そのころの、ゆつたりとした気分が忘れられず、



～天保山公園にて



ここから見る夜景もきれいですよ
～桜島自然恐竜公園展望台にて



前には海、後ろには桜島。両方の景色が楽しめます
～桜島自然恐竜公園展望台にて



取材メモ

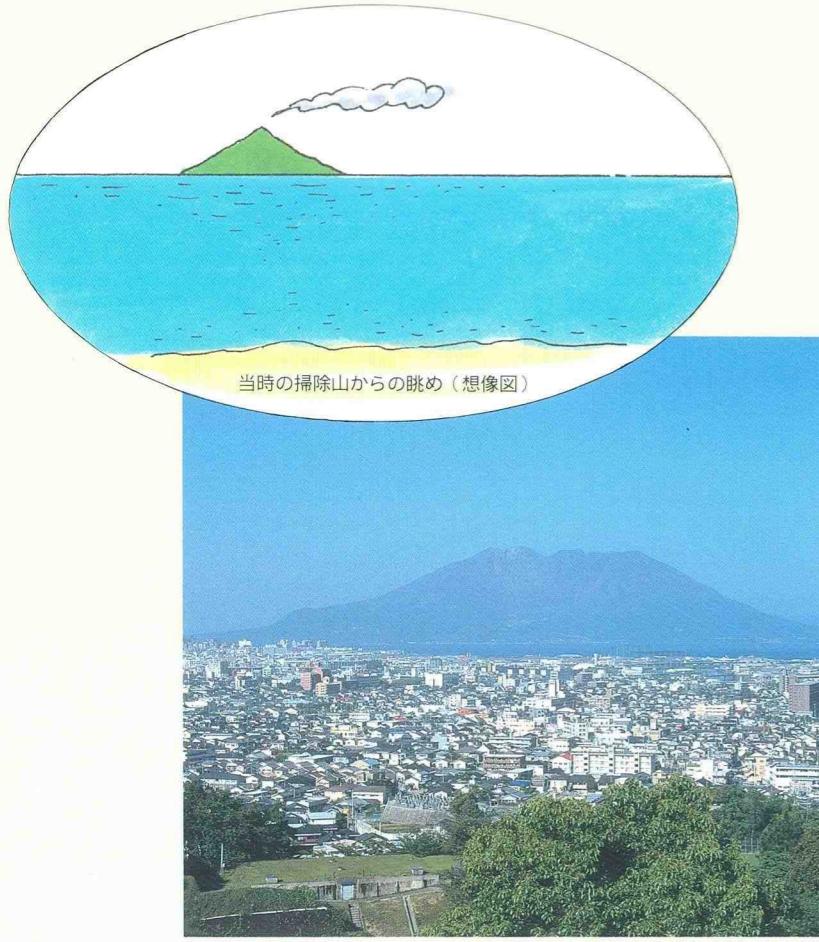
森重さんは、県立鹿児島工業高校卒業後上京し、主に工業・商業デザイン分野で活躍されました。昭和五十三年に帰郷、市内にデザイン事務所を開設されました。

平成七年には、発起人の一人となり、かごしまデザイン協議会を設立。初代会長を務められ、現在は二期目を迎えております。

現在の協議会会員は約七十人。映像関係や教職員の方など、いろんな分野の方々が参加されており、そのまとめ役として活躍されています。

今後、協議会で県内のいい風景、いい道具などをまとめる「かごしまのいいもの探し隊」という企画を進めるほか、デザイン大賞の創設など、デザイン環境の整備に取り組みたいと抱負を話してくださいました。

端的で、わかりやすくお話しくださり、終始笑顔で取材に応じていただきました。



当時の掃除山からの眺め（想像図）

衣 縄文人のファッショントレンドを 現代社会に探せ！

一万年前の縄文時代のファッショントレンドは？「そりやーもう定番の毛皮のパンツに上半身裸体でしよう」と思う。しかし、よく考えてみると毛皮を肌に直接着ければ、夏はむせてあせもができるだろうし、冬は寒いに違いない。

現在では、植物の繊維でできた衣類がある。木から繊維を取り出し、それをたて糸とよこ糸にして編んで布にし、それを無し服を作っていく。



編布（アンギン）
のできるまで



ポリネシアの民族衣装「タバ」

眺め

鹿児島の眺めといえば、なんといつても桜島。掃除山の人々も朝な夕なにその雄大な姿を仰ぎ、感動していたに違いないと、タイムマシーンで彼らに会いに行きその感想を求める、雄大な桜島？前をよく見てみろよ。何と言つてんだよ。

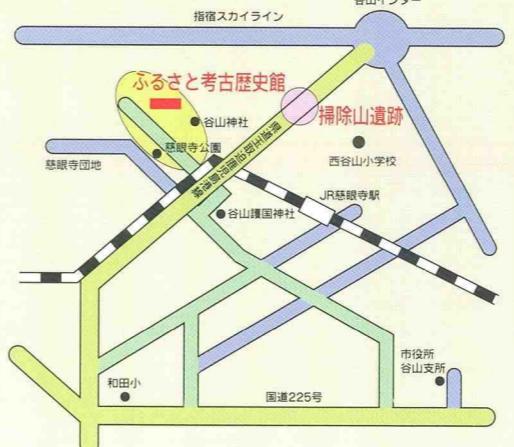
そう、眼前ははるかに錦江湾が広がり、小粒な火山がボツンとあるだけ。何とその当時、現サイズの桜島はなかった。そ

れが、一万年前の大噴火の結果、今いる。また海岸線も内陸に迫り、慈眼寺の高台のすぐ下は白浜だつたらしい。一万一千数百年前の掃除山の人々の暮らしは、その眺めにおいていきなり現代の常識をくつがえすものであった。彼らがどんな眺めを「心の故郷」としていたのか。その調査は読者のみなさん

の想像力にお任せしたいと思う。

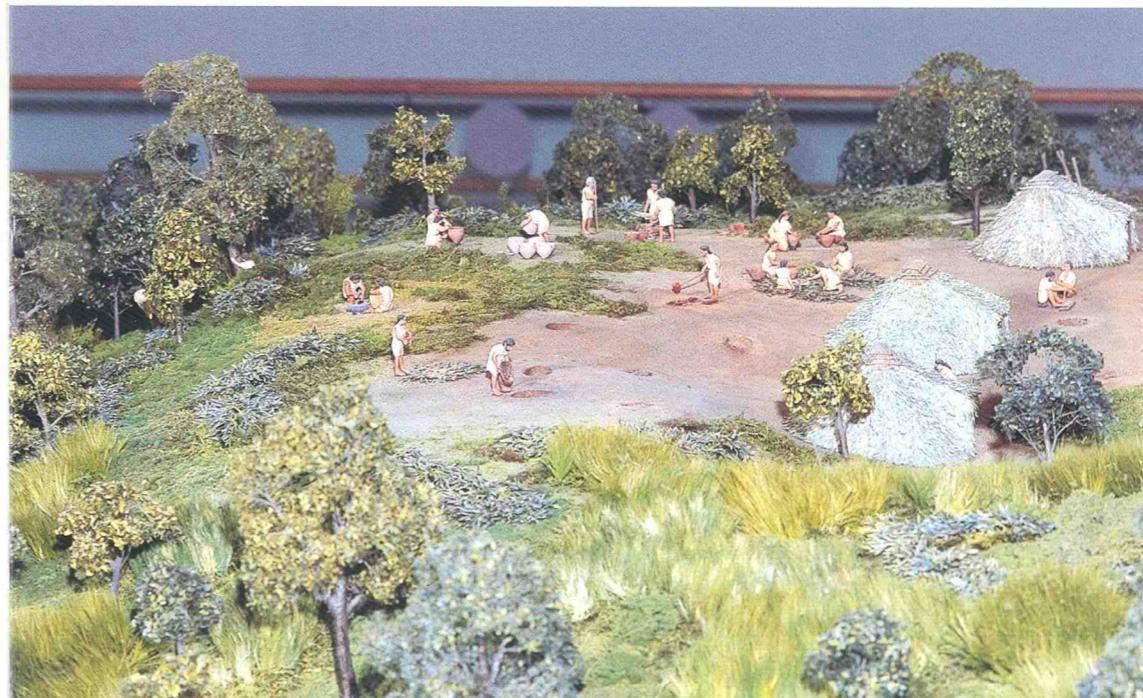
掃除山の人々は桜島を眺めたか？

◆縄文の暮らしをさぐる



ふるさとの
歴史探訪
谷山地区・掃除山遺跡から

縄文の人々は、何を見、どんな格好をし、どんな喜びや悲しみがあつたのか。



掃除山遺跡復元模型（ふるさと考古歴史館）

歴史は現在と過去との対話である

とはイギリスの政治学者の言。

とすれば、歴史とは現在、過去、未来を自在に飛び交うタイムマシーン。

「えつ、歴史に詳しくないって？」

心配ご無用。――我々市民は学者のように歴史には詳しきないかもしれないが、その分、歴史学、考古学といった学問による制約がない。どのタイムマシーンに乗つてどこに行つても自由。自分なりの夢とロマンをふくらませることができる。

今回のテーマは「縄文時代」。約一万数千年前から二千年前までの私たちの遠い祖先たち。

彼らはどんな風景を見、どんな格好で何を食べ、日々の中、どんな喜びや悲しみがあつたのだろうか。はるか太古の真っ白いキャンバスに当時の人々の生きざまを描いていく筆。その筆を、この春市内の慈眼寺公園にオーブンした「ふるさと考古歴史館」に求めた。一万一千数百年前に栄えた掃除山遺跡の復元模型などをゆつくりと眺めながら、浮かび上がつてくる我々の遠い祖先の暮らしを追つてみることにした。

また、ポリネシアには「タバ」という衣装がある。カジの木の皮をはがし、これをたき伸ばした紙のような繊維布で、これには模様を色鮮やかに描くことができる。

縄文の人々の暮らしを探るには、遺跡を掘り起こすだけでは限界がある。現在この地球上で営まれている色々な文化に、親しみを込めた目を向けることが必要であろう。

さて、掃除山の人々の衣類だが、タバに軍配を上げたい。タバの原色が慈眼寺公園の緑によく映えそうだからである。

縄文の食卓が持つていた 地域の可能性。

食

日本人の主食は米。いつ誰が決めたのだろうか。稻作・田園は日本の心とまでいわれる。が、昔は日本には稻作に適さない土地も多かった。シラス台地の鹿児島もしかり、冷害の多かった東北もしかり。しかし、体制は稻作。そこで無理して米にこだわったがために飢饉による多くの犠牲者が出た。



その点、縄文の食卓は、地域の可能性を示唆してくれるものばかり。海の近くではクジラを食べているし、掃除山からも、何と肉のくんせい炉が見つかっている。また、炭化した木の実の出土から、カシの実などを粉状にし、それを水と合わせて焼いたクッキーの存在も推測されている。



石皿とたたき石。
これで木の実などすりつぶした（掃除山遺跡）

縄文時代のいい立地条件とは？

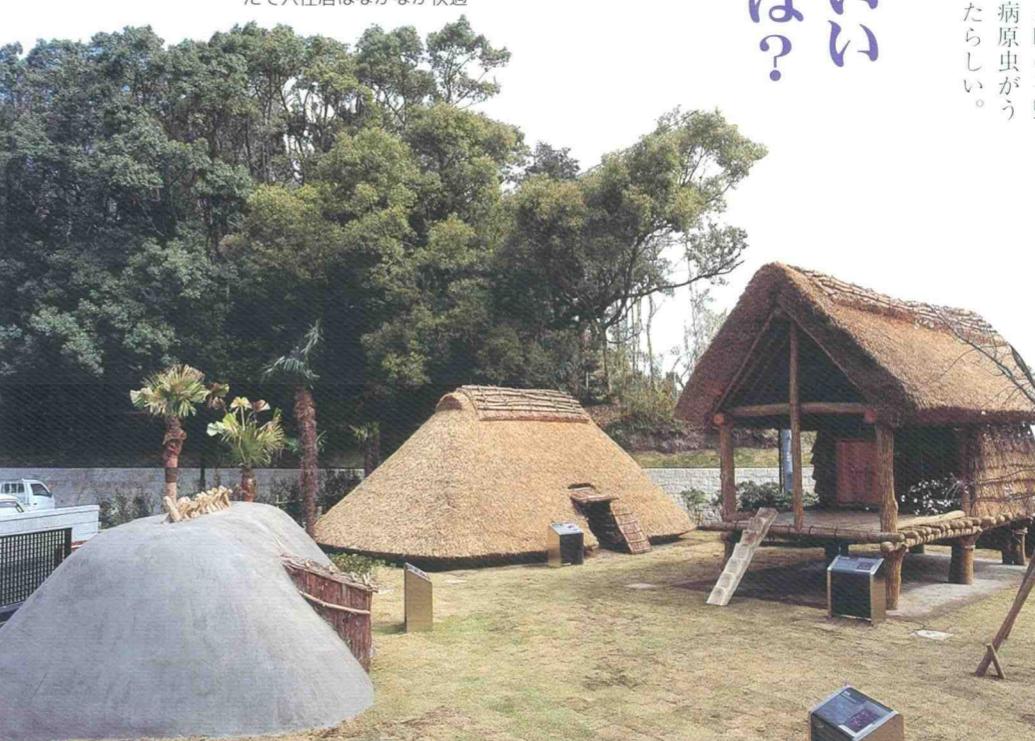
住

人はいつから定住生活を始めたのか？
掃除山の人々は、世界の中でもいち早く定住したグループの一つなのである。彼らは一万一千数百年前、谷山地区の掃除山の南斜面に、寒い風を避けるよういくつかの簡素な家を建てて生活を始めた。

では当時のいい立地の条件とは？
まず、山間部であること。当時の平野部は狩猟採集が難しい上に、病原虫がようよしている最悪の場だつたらしい。



たて穴住居はなかなか快適



東斜面を降りたところに水場を持つていた。では、当時の人々の家はどういと、たて穴住居といわれるもの。掃除山の場合は、細い柱にクマザサで屋根をふいたたて穴住居であった。思いのはか暖かい。中では家族が炉を開んでどんな楽しい会話がはずんだのであろうか。



縄文時代後期の市来式土器（草野貝塚出土）
この土器は、四国・九州・沖縄まで広く分布するもので、当時の人々のバイタリティーを感じさせる。

土器の出現が世の中を変えた？

知恵

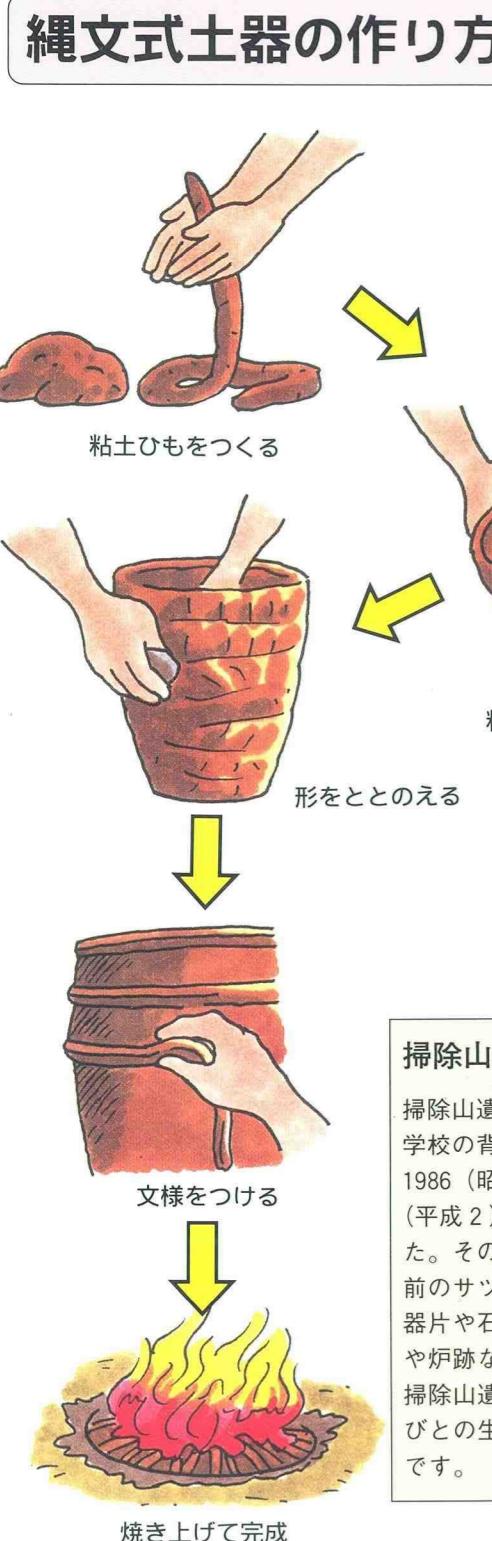
今、どの都市でもごみ処理が大きな問題となっている。では、縄文時代はどうだったか。例えばシカを獲った場合、まぐれで肉を焼いて食べたり、保存食として袋に毛皮はチヨツキなどに利用。角は釣りばりに、骨はかんざしに加工されている。どこも捨てるところがない。

彼らの知恵に驚くとともに、それは彼らの自然からの贈り物を無駄にすまいとういう感謝と畏敬の気持ちにたどり着くよう気がする。

そして縄文人の最大の発明は土器。掃除山からも隆帶文土器という縄文早創期の土器が出土している。

縄文の土器の目的はほぼ煮たき用。木の実などの煮たきに使うことで、食のバラエティーと安定度が増して、定住生活ができるようになった。これが国の誕生へと続く。

産業革命の様に、土器というただ一個のテクノロジーが世の中をがらりと変えたのである。



掃除山遺跡

掃除山遺跡は、谷山地区の西谷山小学校の背後の台地の端にあります。1986（昭和61）年に発見され、1990（平成2）年に発掘調査が行われました。その結果、今から約1万1000年前のサツマ層の直下から、大量の土器片や石器とともに、たて穴住居跡や炉跡などが見つかりました。掃除山遺跡は、縄文時代草創期の人びとの生活を知るうえで貴重な遺跡です。

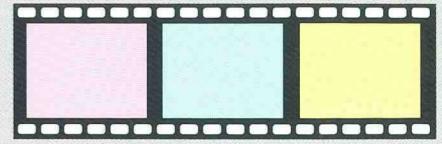
皆さんは、縄文にどんなイメージを持つだろうか。時代は下るが同じ縄文の三内丸山遺跡で、集落の中にかぎり火をたいたと思われる高棲が発見された。作家の故司馬遼太郎さんがテレビで次の趣旨を話されていた。

「高棲でかぎり火をたいたのはどうしてか。それは狩りや採集に出た人々が日暮れて集落に帰る時の目印だったのではないか。縄文の社会というのは、そんなやさしい心配りができる気持ちのいい社会だったのでは、という思いが頭から離れないんです。」

縄文から現代へ。確かに物質文明が発達したのは間違いない。しかし、人として、集団として、心のやさしさも進んでいると言えるだろうか。

この旅は、彼らの生活を追つていくことで、現在の我々が失った宝物を探していく旅でもあるのだ。

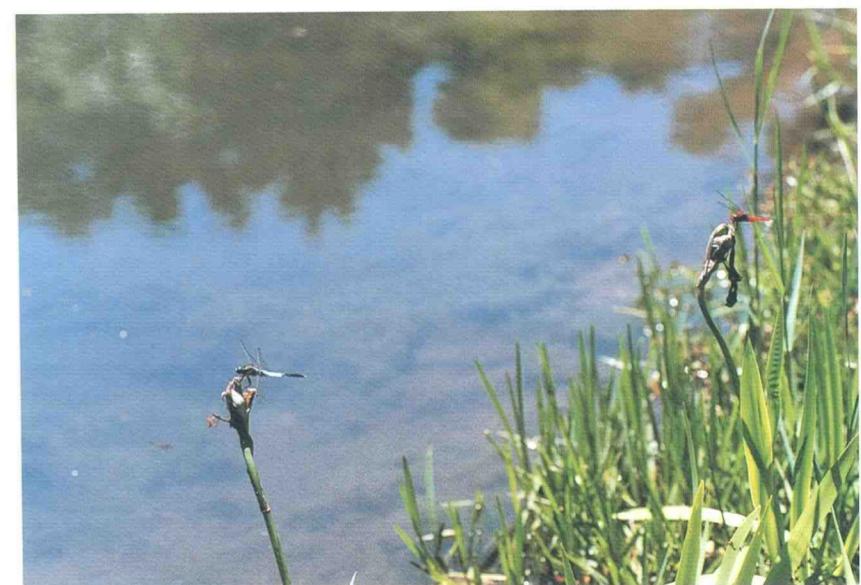
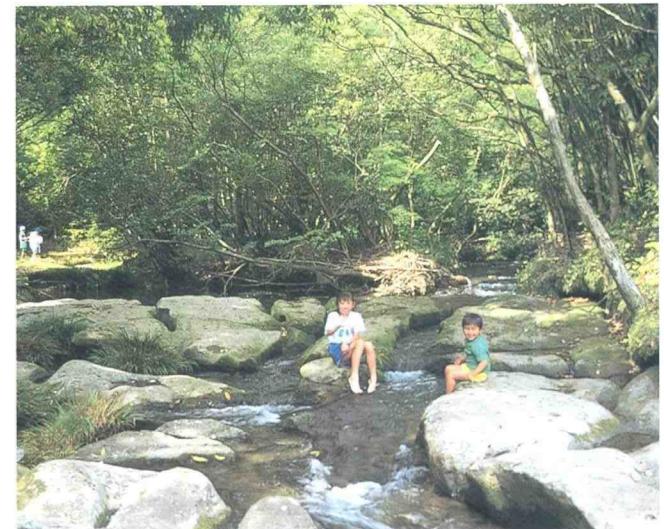
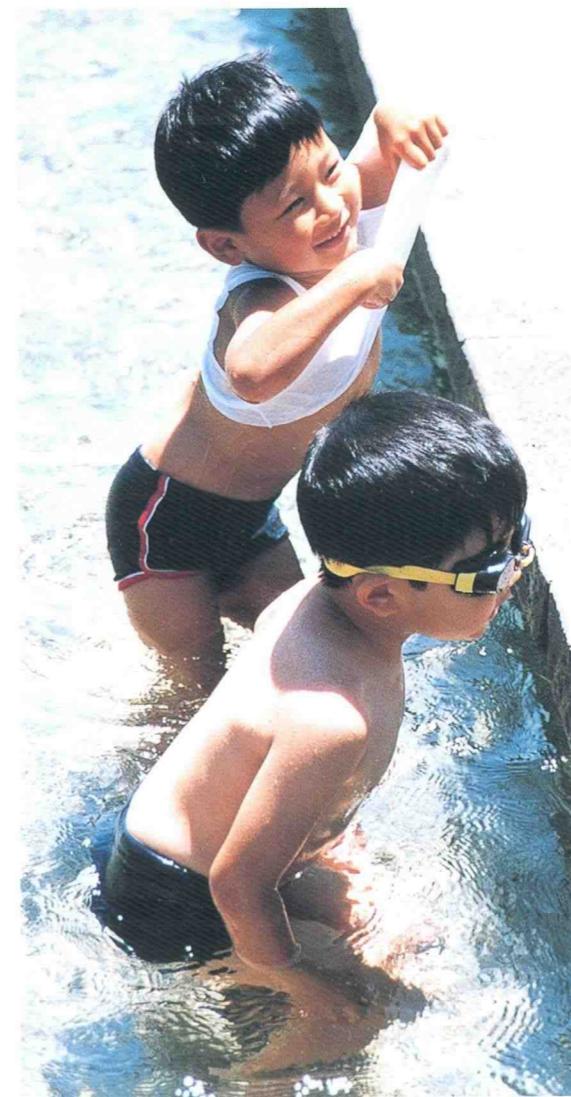
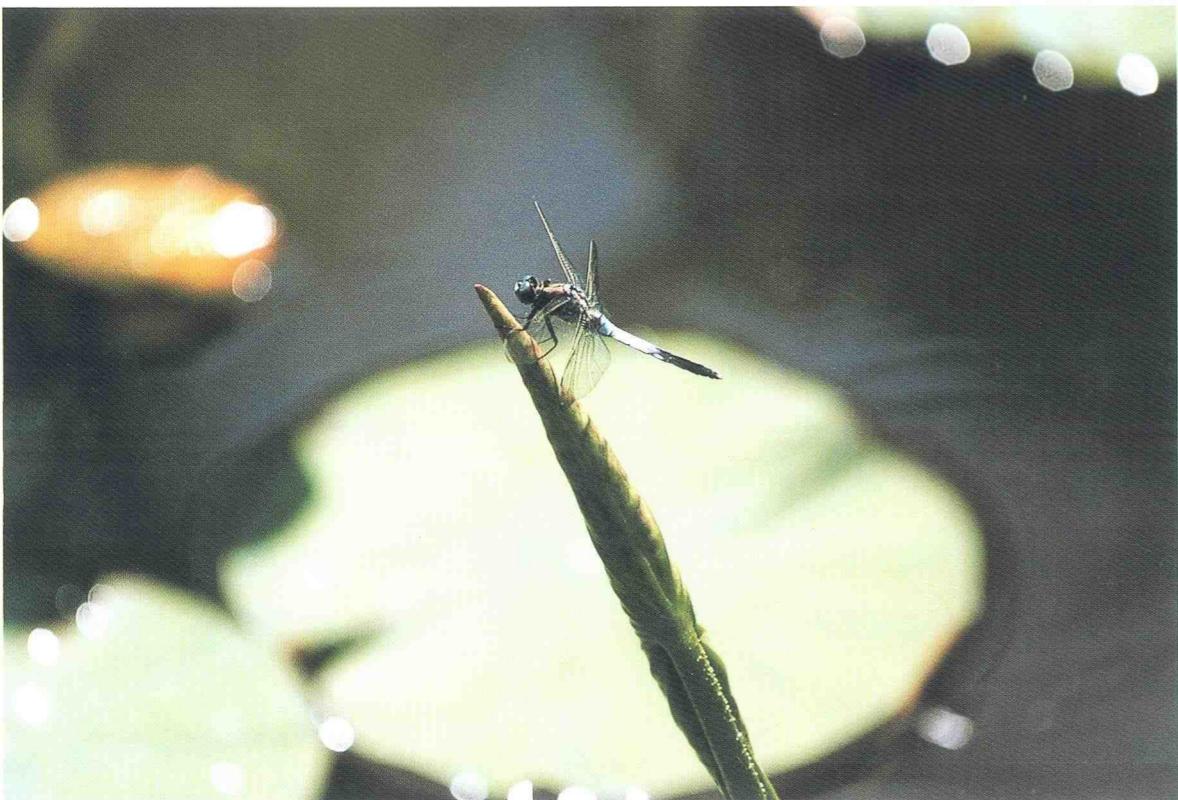
あなたの フォトサロン



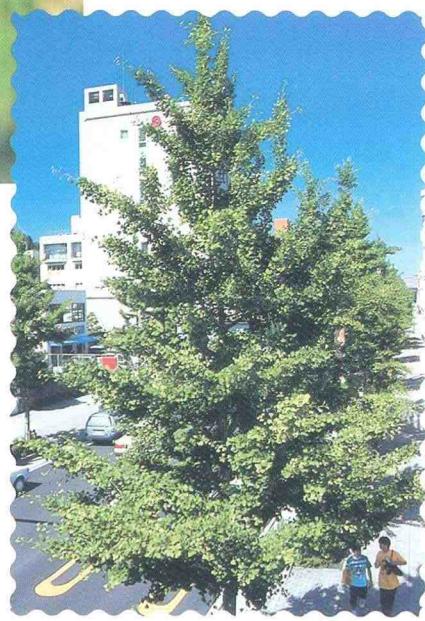
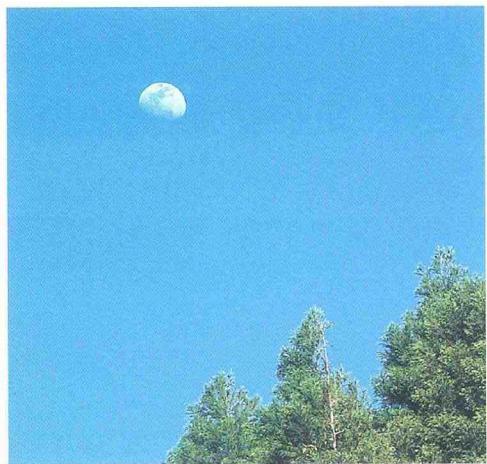
写真と文 諏訪 福子さん
「水辺の憩い」

仕事をやめてから、久しぶりに家族でゆっくり出かけてみました。

よく晴れた日、涼しげな水の流れが私たちの心を潤してくれました。



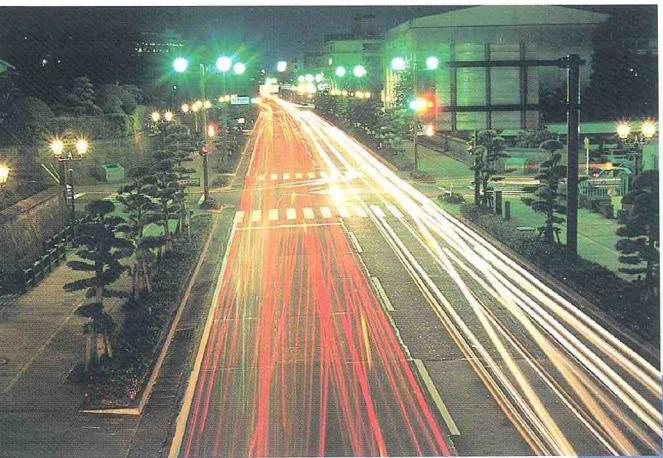
国道3号沿線



かごしまの 自然



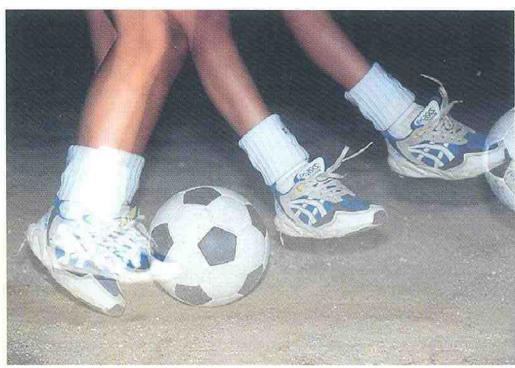
CITY 流 ANGLE



光



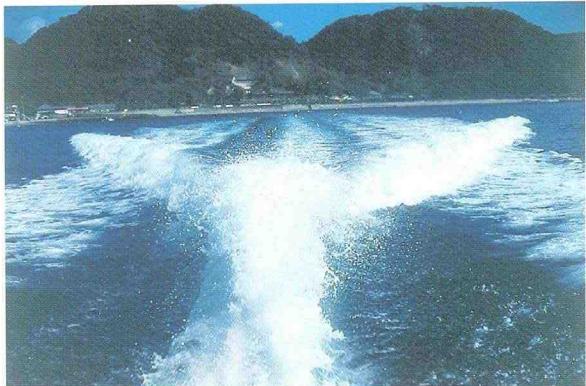
人



瞬



水



沫



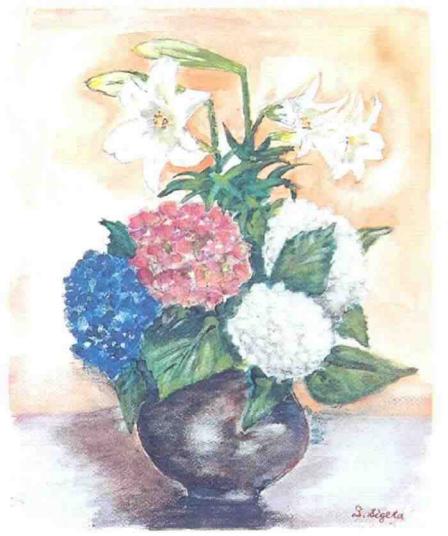
雲



時



風



繁田修二さん



中村彪さん



稻留実さん

類徧察品

川原園豊子さん



地福里美さん



田中久子さん

喜圓生 海春

田之脇光雄さん

白
雲
心
や

石神フヂ子さん

中鳥語谷 湖山

永瀬魁さん

西
巡
情
わ詩

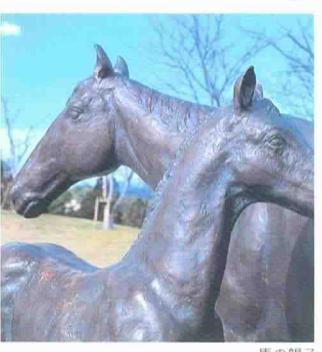
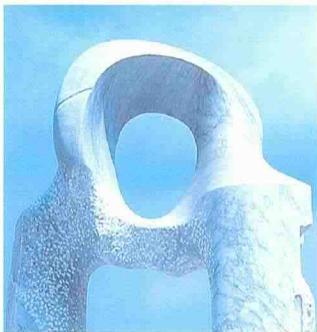
上之園三男さん

みんなで学ぶって、楽しいですね。

今回は伊敷公民館の自主学習グループで、書道「白雲会」、水彩画「四水会」および「彩美会」の皆さん的作品をご紹介します。
書道「白雲会」は橋本康雲先生のご指導の下、毎月第二・四火曜日に活動しています。平成元年から活動を始め、会員は現在二十人。その練習には、白い紙に向かい筆を走らせる緊張感に、メンバーの和やかな雰囲気が溶け合っています。

水彩画の活動は、本田光志先生のご指導を仰いでいます。
「四水会」は平成三年に発足。毎月第二・四曜日に、現在十七人の会員が活動中です。温かふれあいと、新鮮な視点で絵筆を運ぶ楽しさが魅力だとか。(二段目)
「彩美会」の活動は平成五年から。現在十一人の会員が毎月第一・四曜日に練習しています。絵を描くこととおしゃべりが同じくらい楽しみで、というメンバーばかり。ふれあいの中で広がる新たな世界、皆さんの作品をどうぞご覧ください。

GALLERY
市民ギャラリー
伊敷公民館・自主学習グループ



5周年記念モニュメント

~see・touch・feel~

園内に4つのモニュメントができました。
鹿児島の自然に、そして、ここを訪れる人たちへ
願いを込めて…

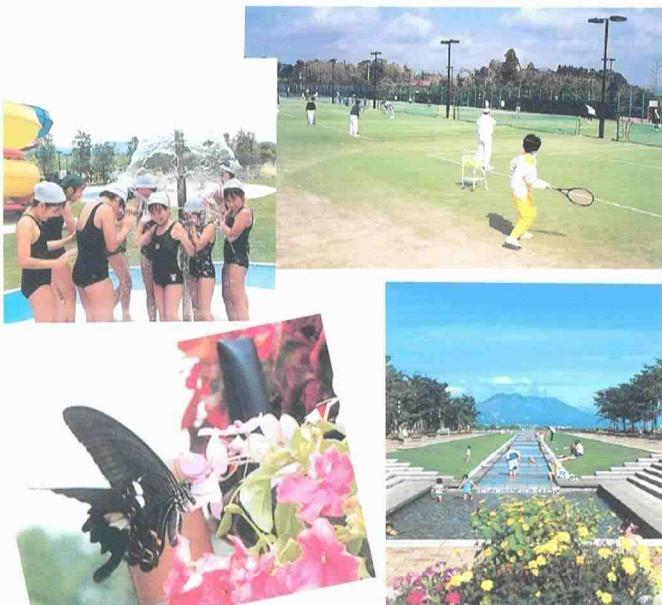
市営施設見学会

かごしま健康の森公園

～自然の中で健康づくり～

市制100周年記念事業の一つとして建設し、平成4年4月に開園。

33haの広大な敷地と緑豊かな自然の中に、プールや体育館、多目的広場、パターゴルフ場、ジョギングコースなどの運動施設のほか、冒險の森、わんぱく広場、自然観察園、展望台などの施設があります。



新企画のこのコーナー。

誌面を通して、いろいろな施設をご紹介してまいります。
第一回目は、みんなに親しまれ開園五周年を迎えた「かごしま健康の森公園」。
豊かな自然の中で夏を満喫してみてはいかがでしょうか。

市立美術館

● ブリ・シュール・マルヌの教会 ●

(1919年頃)

油彩・カルトン

サイズ 58.8×78.6cm



モーリス・ユトリロ

(1883~1955)

エコール・ド・パリの画家の一人として知られているモーリス・ユトリロは、モデルであり画家でもあるシュザンヌ・ヴァラドンの私生児としてパリのモンマルトルに生まれた。幼いころから祖母に育てられ、17才でアルコール中毒のため入院、そして医者に勧められて絵を描きはじめたという異色の経歴をもった画家である。

初期の作品はピサロなど印象派の影響を受けたと思われるものもあるが、ほとんど独学で絵を描き続けたユトリロは、めまぐるしく変化する20世紀初頭の美術界の動きをよそに独自の哀愁漂う画風を確立する。彼はパリの街並みを多く描いており、1908~14年の頃の白を基調とした、いわゆる「白の時代」の作品は特に評価されている。

画家として認められた後は、妻リュシーと共に穏やかな晩年を送って72歳の生涯を終えた。

◎ 作品解説

ユトリロは教会を多く描いている。この作品もその一つで、ブリ・シュール・マルヌとはパリ近郊の地名である。一九一九年といえば、ユトリロの作品は色彩豊かな作風へ移行している時期だが、どちらかというと「白の時代」の作風を強く感じさせる、白ないし灰色も生かされた作品である。

時は夕方であろうか、空はほんのりピンク色に染まり、時計の針は五時すぎを指している。教会の煙突からは煙がうつすらと立ちのぼり、家路を急ぐかのような人々の描写は、ものさびしい雰囲気の中にあるたたかい家庭への憧憬も感じられる。

この年、ユトリロは個展の成功により一躍人気作家となつたが、依然としてアルコールからは離れられず、入退院を繰り返していた。富や名声ではなく、ひたすら絵を描くことだけが彼を支えていたのかもしれない。

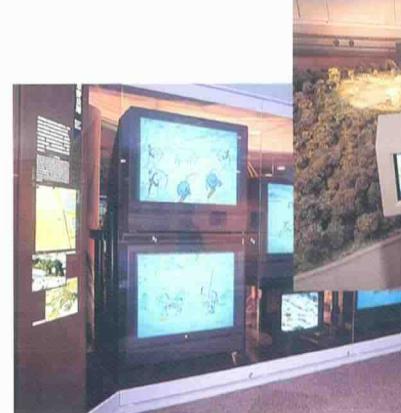
(学芸員 濱島めぐみ)

「ふるさと鹿児島」を見て、ふれて、体験。



本市の歴史や文化を
国内最大級の大型模型や
最新の映像機器を使って
紹介する画期的な
参加体験型博物館です。

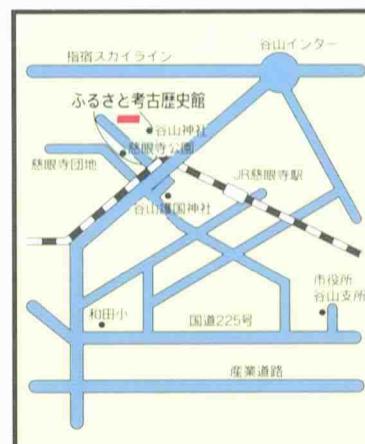
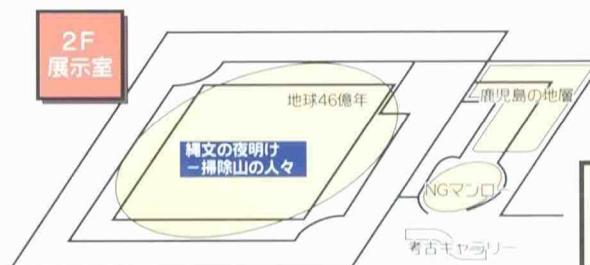
ふるさと考古歴史館
キャラクター
マンロー博士



草野貝塚と集落



屋外体験ゾーン



鹿児島市立ふるさと考古歴史館
下福元町3763番地1 (慈眼寺公園内)
TEL(099)266-0696

●ご利用案内

- 開館時間／午前9時～午後5時
- 休館日／月曜日(休日のときはその翌日)
12月29日～1月4日
- 観覧料金／×()内は団体料金
一般(高校生以上)………300円(240円)
小・中学生……………150円(120円)
×未就学児は無料です。×団体は20名以上です。

●交通のご案内

- JR九州
●JR指宿枕崎線慈眼寺駅から徒歩15分
- バス
●市バス・鹿児島交通「慈眼寺団地行」に乗車し、「慈眼寺公園」バス停から徒歩15分
- 鹿児島交通「ふるさと考古歴史館行」に乗車し、終点「ふるさと考古歴史館」バス停下車
- 市電
●市電「谷山」電停下車、市バス・鹿児島交通「谷山電停」でバスに乗り継ぎ